

鑑賞サポート

東京芸術劇場では、いろいろな人が公演を楽しむことができるようにサポートをしています。ガイドを聞きながら、見ることができる公演などがあります。

目が見えない・見えにくい人のためのサポート

舞台説明会

演劇の公演では、舞台の機械や登場人物(演劇をする人)などのことを公演が始まる前に説明します。

公演の前に、①～③などの説明を聞くことができます。

- ① 話のポイント
- ② 登場人物(演劇をする人)
- ③ 舞台のセット

公演説明会

音楽の公演では、プログラムや出演者(公演をする人)のことなどを公演が始まる前に説明します。

公演の前に、①や②などの説明を聞くことができます。

- ① プログラム
- ② 出演者(音楽をする人)

パイプオルガンコンサートでは、模型(小さいパイプオルガン)を触りながら、説明を聞くことができます。パイプオルガンの形や大きさを知ることができます。

音声ガイド(イヤホンで説明を聞くことができる機械)

説明を聞きながら、公演を楽しむことができます。

公演をしているときに、ナレーターが登場人物がどのように動いているか、舞台の機械がどのように動いているかなどを話します。

無料(0円)で借りることができます。

音声ガイドを借りる人と一緒にいる人も音声ガイドを借りることができます。

目が見えない・見えにくい人のための鑑賞サポートを使うことができる公演 [→リンク貼る](#)

耳が聞こえない・聞こえにくい 人のための サポート

ポータブル 字幕機(説明を文字で読むことができる 機械)

ポータブル 字幕機を借りることができます。

ポータブル 字幕機は、演劇のセリフ(話していること)や 効果音(舞台の音)などの説明を文字で読むことができる 機械です。

無料(0円)で借りることができます。

文字は、自動で変わります。

自分の席で使うことができます。

アームスタンドがありますから、手で持たなくても使うことができます。

ポータブル 字幕機には、ほかの人が見たとき画面が暗く見えるようにフィルムが貼ってあります。

ポータブル 字幕機を借りるときに、手話通訳者が使い方を説明します。

耳が聞こえない・聞こえにくい 人のための 鑑賞サポートを使うことができる 公演 [→リンク貼る](#)

ヒアリンググループ(磁気グループ)

ヒアリンググループは、舞台の音がよく聞こえるようにするシステムです。磁気コイル付補聴器や人工内耳を使っている人のためのシステムです。

東京芸術劇場では、「コンサートホール」「プレイハウス」「シアターイースト」「シアターウエスト」の決まっている席で使うことができます。どの公演で使うことができるか知りたいときは、劇場のWEBサイトをみます。

※Bluetooth対応補聴器では、使うことができません。

※補聴器を借りることはできません。

ヒアリンググループを使うことができる 公演 [→リンク貼る](#)

鑑賞することが不安な 人のための サポート

大きい音が苦手な人や聴覚過敏(いろいろな音が気になってしまう)の人は、「イヤーマフ」を借りることができます。無料(0円)で借りることができます。

大人用と子ども用があります。申し込みをしなくてもいいですが、たくさんありませんから、借りることができないときがあります。借りたいときは、「コンサートホール」「プレイハウス」「シアターイースト」「シアターウエスト」でスタッフに聞きます。

とうきょうげいじゆつげきじょう かんしやう 東京芸術劇場の鑑賞サポート

とうきょうげいじゆつげきじょう ばしよ ひと えんげき おんがく たの おも
東京芸術劇場では、いろいろな場所で、どんな人にも演劇や音楽を楽しんでほしいと
おもっています。ですから、とうきょうげいじゆつげきじょう い が い ばしよ かんしやう つか えんげき おんがく たの
東京芸術劇場以外の場所でも鑑賞サポートを使って、演劇や音楽を楽しむ
ことができるように考えました。「かんしやう ゆた げきじやう か のうせい ほうこくじや
鑑賞サポートが ひらく より 豊かな 劇場の 可能性」報告書 →」
[リンク貼る\(https://www.geigeki.jp/house/pdf/support_report.pdf\)](https://www.geigeki.jp/house/pdf/support_report.pdf)では、いろいろな ばしよ
かんしやう しやうかい
鑑賞サポートなどを紹介しています。